

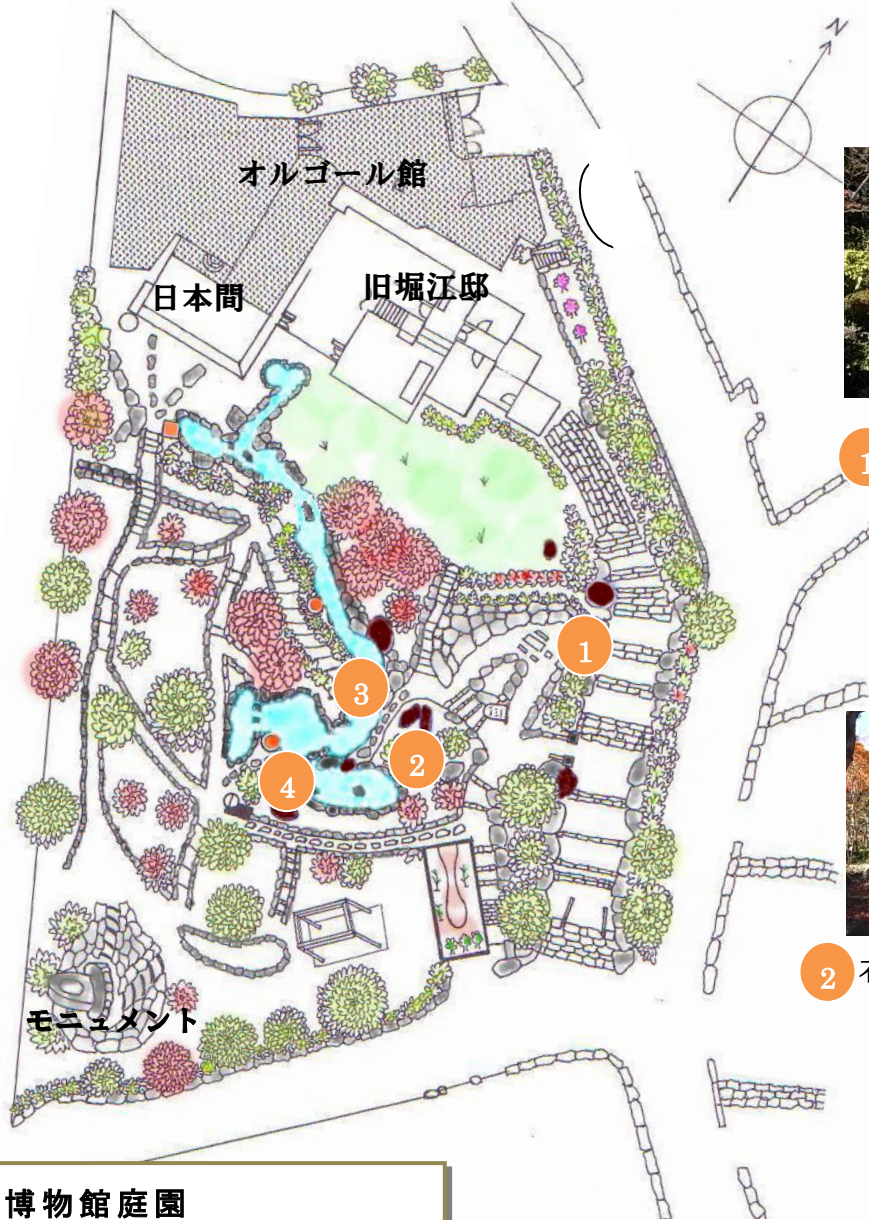
堀江オルゴール博物館秋の庭園 MAP



3 刻印石下の滝



4 三日月窓の寄せ灯籠



1 若狭小浜藩刻印石



2 石切り丁場 矢穴石群

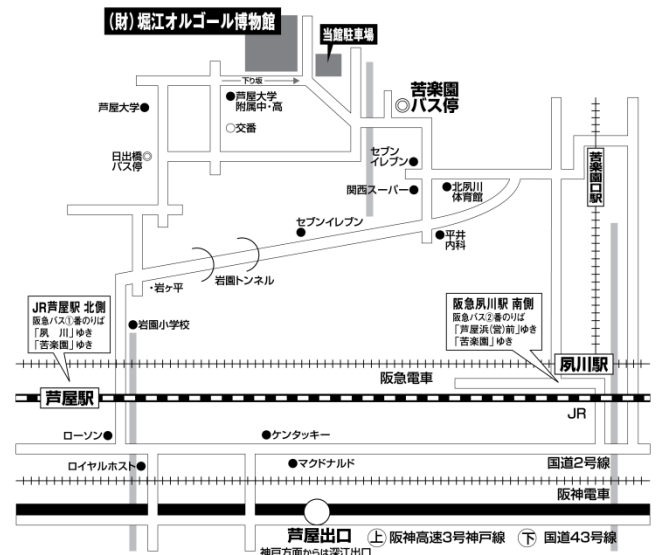
堀江オルゴール博物館庭園

堀江オルゴール博物館がある苦楽園四番町は明治 44 年に六甲山の麓の 大坂湾から生駒連山を見下ろす一角を別荘地として開発された土地です。芦屋、西宮、尼崎が眼下に望めます。

大正 11 年、クラブ化粧品の中山太一氏がこの地に大阪市の迎賓館として「太陽閣」を建てられました。昭和 38 年に堀江光男氏がこの跡を購入し、現在は堀江オルゴール博物館となっています。

800 坪の庭園は「水と石の魔術師」と評せられた小川治兵衛より作庭され庭の池には滝が組み込まれ、三日月窓の寄せ灯籠が建てられています。そして庭の樹木には小川治兵衛が好んだハゼの木、どうだんつつじ、いろはもみじが植えられ、秋の紅葉は圧巻です。

西宮苦楽園と芦屋六麓荘一带は元和 6 年（1620 年）から寛永 5 年（1628 年）まで徳川大坂城石垣再築時の東六甲採石場であった事が報告されています。しかし、採石場のほとんどは宅地造成などで失われています。堀江オルゴール博物館の庭園には刻印石から推測される若狭小浜藩京極若狭忠高（NHK の大河ドラマ「江姫達の戦国」の初姫の夫の嫡子）の採石場が 400 年前そのままの姿をとどめています。



財団法人 堀江オルゴール博物館

西宮市苦楽園四番町 7-1
 電話 0798-70-0656 FAX 0798-72-0110
<http://www.orgel-horie.or.jp>